



玉・生

たまう

内部を外部に、
外部を内部にゆるやかに伝え、
人と自然との中間領域・間となる。

「玉」＝宝石が、「生」＝生まれる。
心が動いたり、
誇りや心の拠り所となるような
空間を生む

